

# 新市立島田市民病院建設基本構想

平成 26 年 7 月

島田市

## 新市立島田市民病院建設基本構想の策定にあたって



市立島田市民病院は、昭和21年に島田町立診療所として開設し、昭和32年に市立島田市民病院に名称変更されました。そして、昭和54年には、病床数398床、診療科目16科で現在地に新築移転し、東館が完成した昭和63年には病床数760床、診療科目21科となりました。

その後も、社会環境の変化、医療技術の急速な進歩とともに成長と変化を遂げながら、市内で唯一の病院であり、島田市のみならず、志太榛原二次保健医療圏の中核病院として、医療の基幹的役割を担い、市民の皆様をはじめとする地域住民の命と健康を守ってまいりました。

当市の地域医療を取り巻く状況には、少子高齢化の進行、地域医療を支えていただいている医師の高齢化や後継者不足、地域的な偏在化等、極めて厳しいものがあります。このような状況の中で、地域医療の中核を担う市立島田市民病院の役割は、従来にも増して重要となっています。

一方で、市立島田市民病院は、施設の大半が建築から約35年を経過し、耐震性の問題に加え、施設設備の老朽化が懸念されるなど、様々な課題を抱えています。

このような状況を踏まえ、将来にわたって医療を提供し、地域住民の皆様への安全・安心を確保するためには、抜本的な対策が必要と考え、病院の建替えに向けて基本構想を策定することとしました。基本構想の策定は、平成17年度からはじめ、この間に市立島田市民病院のあり方、診療機能や規模など新市立島田市民病院の建設に向けて様々な調査や検討を行ってきました。

そして、これまでに積み重ねた検討結果等を踏まえつつ、本年2月から「新市立島田市民病院建設基本構想検討委員会」を設置して検討作業を進めてまいりました。また、医療関係の有識者等から専門的な知見をいただくため、新市立島田市民病院建設基本構想策定における合同ヒアリングを実施するとともに、新市立島田市民病院建設基本構想策定のための市民ワークショップやパブリック・コメントでは、多くの市民の皆様から貴重な御意見をいただきました。

このように、この基本構想は、市民の皆様や市議会など、多くの皆様の御提言や御意見などをいただきながらまとめた大変意義深い構想であると考えております。

今後は、この基本構想を土台として、引き続き新病院建設に向けて取り組み、市民をはじめとする地域住民の命と健康を守る安心の拠りどころとなる病院として着実に整備してまいります。

この基本構想の策定に御支援と御協力をいただきました多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

平成26年7月

島田市長 染谷 絹代

## 目 次

1 基本構想について	
(1) 基本構想策定の背景	1
(2) 基本構想策定の経過	1
(3) 今回の基本構想の位置づけ	4
2 医療を取り巻く社会経済環境の把握と今後の見通し	
(1) 医療提供体制の改革	5
(2) 診療報酬改定の動向	7
(3) 島田市及び志太榛原二次保健医療圏における医療提供体制	9
3 市立島田市民病院の現状と課題	
(1) 市立島田市民病院の現状	18
(2) 市立島田市民病院の課題	36
4 新市立島田市民病院の基本的な考え方	
(1) 新病院の理念と基本方針	40
(2) 新病院の基本機能の整備方針	40
(3) 新病院の整備手法等の検討	48
5 計画の具体化に向けた課題	
(1) 医療提供体制の整備	54
(2) 施設整備の具体化	54
(3) 建設事業費の縮減に向けて	55

### 【参考資料】

- 1 新市立島田市民病院建設基本構想の策定に係る経過
- 2 建設地選定資料